



山梨県立

ひばりが丘高等学校



所在地 〒403-0005 富士吉田市上吉田3531

電話 0555-22-8015

F A X 0555-22-8016

URL <http://www.hibarih.kai.ed.jp/>

Email info@hibari.kai.ed.jp

創立 平成16年

課程 定時制(単位制)

利用交通機関 富士急行線富士山駅より徒歩15分

教員数 27名

生徒数 85名

年次		1年次		2年次		3年次		4年次	
		男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	昼間部	6	10	6	12	6	4	6	4
	夜間部	2	1	3	0	2	0	1	1
情報経理科	昼間部	1	2	4	4	0	3	3	4

学校の特徴

本校は昼間部(普通科・情報経理科)と夜間部(普通科)を併設する単位制の定時制独立校として、平成16年4月に開校しました。

4年間での修了が基本ですが、日課表の工夫により教育課程の中に、特別授業を設定することで、3年間で修了する道も開けています。

多様な生徒の実態や希望に対応するため、少人数教育を実施し、生徒のニーズに合った教育をしています。

勉強に対するしっかりとした考え方をもち、根気強く自分の夢を実現させたい人、自分を変えたいという信念を持った人に学んで欲しいと願っています。

校訓は、「自主自律」で、育てたい生徒像として、「自分に誇りを持ち、自己を磨き、毎日をいきいきと学ぶ生徒。自分を見つめ、困難に打ち克つ生徒。社会人として、自立し、役割を担うことのできる生徒。」を掲げています。

学科・教育課程の特徴

【定時制】

昼間部・夜間部の二部制で普通科と情報経理科の2学科があります。

学期は3学期制で、修業年限は基本的には4年間ですが、3年間で卒業する教育課程も用意されています。

授業は、昼間部・夜間部ともに1日4時間、月曜日から金曜日までの5日間で、週あたり20時間です。

昼間部の授業は、10時10分からは14時35分まで、夜間部は、16時45分から20時45分までですので、それぞれの生活時間に沿った学習計画が立てられます。

特別授業は、14時40分から16時15分までの2時間が設定されていますが、昼夜間の併修はできません。

夜間部では給食を実施しています。給食時間は17時30分から18時00分です。

教育課程

普通科(昼間部・夜間部)における教育課程の中で、1年次に学習する科目については、国語総合(4)地理A(2)数学I(3)化学基礎(2)体育(2)保健(2)コミュニケーション英語I(3)LHR(1)総合的な学習の時間(1)の20時間であり、更に特別授業における科目として、芸術(音楽、美術、書道から1科目選択)(2)、現代社会(2)、体育(2)があります。

情報経理科(昼間部)については、国語総合(2)数学(2)体育(2)保健(2)コミュニケーション英語(2)の普通教科と商業の専門科目のビジネス基礎(2)簿記(4)情報処理(2)LHR(1)総合的な学習の時間(1)の20時間であり、更に特別授業における科目として芸術(音楽、美術、書道から1科目選択)(2)、現代社会(2)、体育(2)があります。

特別活動

特別活動には、LHR、生徒会活動、学校行事等があり、一定時間以上の出席が必要となります。

主な学校行事では、創作授業や生活体験文発表会、定通教育祭、校外学習、職場見学等の活動があります。

クラブ活動

部活動の活性化は、本校生徒会の活動目標の核となっています。限られた時間の中で、生徒が熱心に活動しています。平成29年度は、運動部では、陸上競技や卓球部で全国定通総体に出場し、その他の部活動も、県定時制・通信制総合体育大会において活躍しています。

また、文化部では、うどん部と軽音楽部が通年で活動する他、美術文芸部、電卓・ワープロ部など、本校ならではの文化活動も充実しています。高校生活に活力を与えるために、部顧問と部員が一体となって、練習・活動に取り組んでいます。

ひばりのドリカムプランについて

本校のキャリア教育の取り組みとして、自己肯定感、自己有用感の育成を目指し、総合的な学習、創作授業、静聴の時間、生活体験文の連携を図っています。

この活動の総称を「ひばりのドリカムプラン」と呼んでいます。



総合的な学習について

社会で生き抜く力を身につけるための授業です。

年次ごとの目標を設け、さまざまな講座を通して自分や他人について理解し集団の中でコミュニケーション力を身につけるための学習をしています。

- 自己と他者を理解する
- 自らの意見や考えを他人に伝える
- キャリアプランニング能力を高める

創作授業について

全員が参加する学校行事で、7月中旬の4日間を使って行います。講座には、切り絵・絵手紙・木工・絵画・本作り・折り紙・陶芸等があります。

「ものづくり」を通して、生徒達に個別活動から集団活動へ移行させ、他者と協調して、積極的に取り組むことができる人間育成を目的としています。

静聴の時間について

LHR最初の10分間で実施しています。内容は、5分程度の朗読を目を閉じて静かに聞かせ、その後の5分で感想をまとめさせます。

他者の話を聞く姿勢や聞いたことをまとめる力を身につけさせるとともに、話の内容をしっかりとみ取るにより、生徒の道徳心を育成することも目的としています。

生活体験文について

2学期最初に3日間集中して、国語科の先生方の指導の下、生活体験文をまとめます。

日々の生活や自らの体験を文章で表現し、発表することによって、自己を見つめ直すきっかけとすると同時に、言語活動の充実を図ることを目的としています。

県下の定時制生徒が集う定通教育祭での発表の機会があります。

進路について

生徒一人一人にきめ細やかな指導や支援を行い、進路を決定します。

進路指導の行事は、夏休みに希望者に行うインターンシップや2学期には企業見学、キャンパスジョブカフェ等に参加しています。

また、進学に向けては、専門学校や大学等を招いて、体験授業や説明会を実施しています。

主な就職先

富士山の銘水 / 富士観光開発 / 富士忍野食品 / 富士急ハイランド 旭石油 / 富士情報サービス / ラピエヌ富士服飾研究所 / 松浦木工 佐川急便 / アコーディア・ゴルフ / 青葉冷凍 / 陸上自衛隊 / 海上自衛隊など

主な進学先

都留文科大学 / 健康科学大学 健康科学部 / 山梨英和大学 人間文化学部 / 山梨学院大学 法学部 / 大月短期大学 経済学科 / 山梨県立産業技術短期大学校 生産技術科 / 山梨県宝石美術専門学校 ジュエリー科 / 山梨秀峰調理師専門学校 など



H₂Oの発行について

平成23年度より中学生と地域への情報発信を目的に、広報誌 H₂O (Hibari gaoka High School is our Oasis) の取り組みを始めました。創刊号から、16号まで発行しました。内容は、本校を少しでも理解していただくために、季節ごとの行事やイベント等の紹介や生徒や先生方へのインタビューなど盛りだくさんな内容を提供しています。

今年度も、引き続き、ひばりが丘高校の情報を発信していきます。

